

特定非営利活動法人 こども環境活動支援協会

2020年度 報告書



Learning and Ecological Activities Foundation for children

もくじ

■事業報告

持続可能な社会の担い手となる次世代育成に向けた事業	・・・ 1
森林資源の循環利用を通じた都市型里地里山事業の推進	・・・ 4
環境学習都市・西宮における各種実践を通じた国際協力	・・・ 5
社会課題解決や新たな価値創造に向けた各主体との連携・協働の推進	・・・ 7

各世代を対象とした総合的な生活力を育むプログラム体系の確立

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「密」をさけたスタイルで、実施した事業を中心に報告致します。

■ 農体験、自然体験を取り入れた乳幼児及び家族向けプログラムの提供活動

- ・西宮市内公立保育所、幼稚園 13件
- ・「畑と山で子育て」全5回 参加者：延べ135名 (7/26、9/19、10/25、11/8、12/5) 各午前午後2時間
- ・家族対象「小麦を作ってピザ作り」13組 (6/7、9/27、1/17の最終回は、zoomでのオンラインセッション)
- ・「甲山農業塾」家族コース 全11回
開講式ができなかったため、代表理事より動画を通じて皆様にご挨拶致しました。
土曜6組 日曜12組
- ・「甲山農業塾：つちのこコース 全10回
土曜・日曜各3コース 計40組 141名



「甲山農業塾」開講式の挨拶動画作成

■ 小学生を対象とした自然体験活動への支援

- ・西宮市内公立小学校「環境学習支援」 50件
- ・小学校3年生を対象とした「環境体験事業」市内28件・市外1件
- ・「こども農業塾」(関係者・8家族) 稲刈り・サツマイモ堀 (10/18)

■ 自然学校代替プログラム

コロナ禍で実施困難となった小学校5年生を対象とした「自然学校」の代替プログラムを甲山自然環境センター等で実施しました。7校 881名

■ 農体験、自然体験を取り入れた市民対象プログラム

- ・兵庫県立西宮甲山高校延べ26名 (9/19 11/21 12/12)
- ・関西学院大学 延べ11名 (10/10 10/31)
- ・「農とくらしをつなぐサポーター養成講座」 全11回 11名、自主勉強会 (3/24)
- ・「農とくらし・環境をつなぐサポーターズ・種まき部」
- ・コープ西宮つどい場わにな〜れミニリースづくり7組
- ・神戸女学院大学「地域活性化総合実習」3回生 農業指導16回 アドバイス及びイベントサポート8回
甲山農地を日常管理、作業指導、プログラムづくりへのアドバイス、イベント協力等を受託しました。

■ 学習教材として甲山産苗販売と生育アドバイス

西宮市内小学校 2校、保育所 20カ所
伊丹市内小学校 14校 幼稚園 15園 特別支援学校 1校 イモ苗 1930株
甲山の落ち葉たい肥で作ったサツマイモの苗を配布していただきました。
(株)大協支援プログラム)

■ 社会体験を取り入れた市民対象プログラム 防災講演会等



地域防災セミナー2021年3月26日 (動画作成)

活動を支援する拠点フィールド、施設の整備、管理運営

西宮市からの受託事業に係る体験的学びの拠点施設の運営について報告致します。

■ 西宮市立甲山自然環境センター 指定管理

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日より甲山自然の家及び自然学習館は 臨時休館継続中

6月15日～3月31日までは、甲山キャンプ場・社家郷山キャンプ場を西宮市内在住かつ同居の家族に限り、日帰り利用の受入を行いました。

甲山キャンプ場：187組 1916名 社家郷山キャンプ場：297組 1032名

自主的に自然環境を学ぶための「甲山の昆虫」ガイドブックを作成し、小学校に無料配布予定。また、老朽化のため入口の案内看板をリニューアルしました。



■ 西宮市環境学習サポートセンター（ミニミニ水族館）

併設されている「ミニミニ水族館」の見学を楽しんでもらうため、魚に関する「水族館クイズ」毎月作成。
延べ約19,124名の利用がありました。
（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月1日～5月31日 臨時休館）

■ 西宮市立甲子園浜自然環境センター（甲子園浜、3F：学習交流室、ミニミニ水族館の管理）

来館の子どもたちが楽しめるクイズを毎月作成。延べ約20,787名の利用がありました。
（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月1日～5月31日 臨時休館）
2020年度は、水族館のリニューアルを中心に事業を行いました。

リニューアル語のミニミニ水族館



■ 西宮市貝類館（受託イベント、受付業務など）

一般来館者の他学校園等、団体の受け入れ 延べ9,128名の利用がありました。
（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月1日～5月24日 臨時休館）

- ・学習支援（全9件 市内外小学校）
- ・イベント企画・運営：年間イベント26件（内12件実施1,001人）、館内サービスプログラム（月1回）全10回（内3回中止7回実施346人）、自宅でできるコンテンツづくり

* 緊急事態宣言を受けて、自粛期間中における自宅でできるコンテンツ作成を行いました。また、施設オープン時には、ガイドラインにともづいて感染拡大防止に努めました。

- ・自粛期間中におけるコンテンツ作成業務

自粛期間中に、おうちでできるコンテンツづくりを以下のとおり作成しました。

「みやたんとあそぼう」への投稿内容

<https://nishinomiya-kanko.jp/MiyatanToAsobo/>

1) 5月4日「うみのちぎりえづくり」

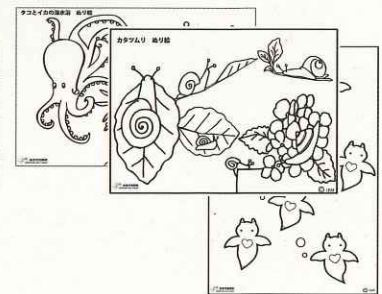


コンテンツのみ

2) 5月19日「かいるいかん かるた」
読み札・絵札・貝解説書付き



3) 5月22日「うみのぬりえ」



4) 6月7日

「かい かるた」音声・保存箱つき動画



5) 7月16日

「貝すごろく」サイコロ・解説書付き



「エコカード」を中心とした活動

* 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策のため、学校・地域・お店でのエコスタンプ押印のしくみにかえ、児童が家庭で取り組む内容に見直しました。

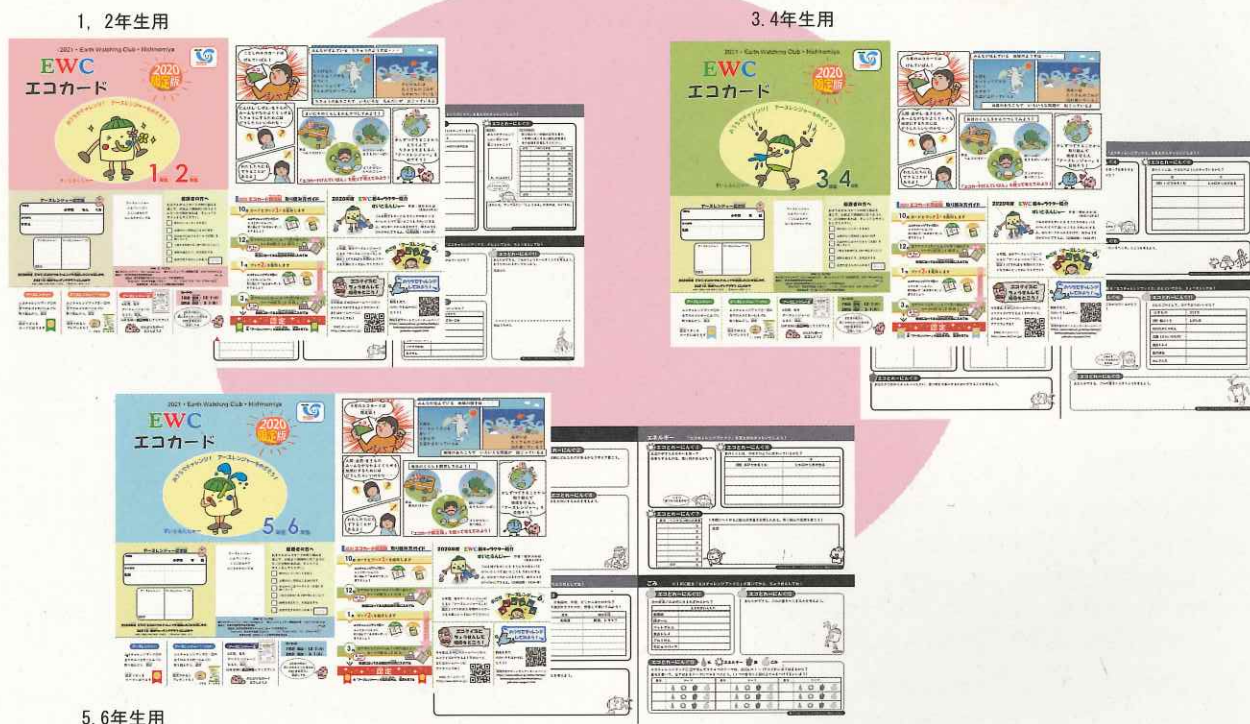
○ 配布物 エコカード限定版、エコチャレンジブック①（10月配布） エコチャレンジブック②（12月配布）

- ・ エコカード限定版を市内市立小学校児童約26,400名に配布
- ・ アースレンジャー認定：4,193名
- ・ アースレンジャープラス認定：2,294名
- ・ アースレンジャー6：121名（6年間毎年アースレンジャーになった子ども）

通常版「エコカード」



限定版「エコカード」



限定版「エコチャレンジブック」
年2回



幼児向け「ちきゅうとなかよしカード」実施

西宮市内公立保育所23カ所を幼児向けエコカード「ちきゅうとなかよしカード」を配布しました。活動期間、活動内容については各園の自主性に委ね、概ね好評を得ました。

西宮市内公立学校園への環境学習活動支援 63件

- ・ 保育所、幼稚園 13件 ・ 小学校50件
- この他に小学校3年生環境体験事業として活動支援をしました。
- ・ 市内28件 ・ 市外1件

森林資源の循環利用を通じた都市型里地里山事業の推進

LEAF都市型里山里地ボランティア活動 登録ボランティア：60名

- ・自然調査ボランティア(4月・5月、1月から3月14日まで活動中止)
植物、鳥類、昆虫類とホタルの調査 8回 参加者：延べ101名
調査結果(植物160種、鳥類27種、昆虫類133種)
- ・湿原除草等の里山整備活動

甲山周辺の自然調査

全国1000箇所程度のモニタリングサイトを設置し長期的に生態系、生物多様性の保全施策につなげることを目的とした環境省の事業「モニタリングサイト里地調査1000」(2018年度～2022年度まで)、西宮市立甲山自然環境センター事業による「都市型里山里地ボランティア活動」の活動として甲山周辺の自然調査を実施。

福祉作業所と連携した森林資源の有効活用

伐採木を活用したキャンプ場薪材の生産(すずかけ作業所に委託)



甲山神呪寺農地、甲山鷲林寺農地

神呪寺農地は神呪寺の協力を得て、甲山農業塾を修了したLEAF会員がメインとなり、農地としての維持管理を行っています。2020年度は会員企業の協力を得、神呪寺農地Cエリアの整地等を行い2021年度からの新規事業の立ち上げ準備を行いました。(以下のとおり)

甲山周辺の自然環境を豊かにする西宮市の生物多様性保全活動の一環ともなっています。鷲林寺農地では、生活協働組合コープこうべ 第2地区本部との食農教育の取り組みもおこなっています。

- ・鷲林寺農地ボランティア：42名
- ・神呪寺農地活動サポーター：15組 定例活動：月1回

神呪寺農地Cエリア整地

2021年度「こそだてファームらんど・甲山」実施に向けて(株)山羽造園ご協力を得て神呪寺農地の整備を行いました。

神呪寺農地整地の様子



「こそだてファームらんど・甲山」チラシ



神呪寺農地Cエリア

「こそだてファームらんど・甲山」実施に向けて

田植えや草抜き等の作業を西宮ホワイトライオンズクラブ「みやっこ応援団支部」の皆様にもご協力いただきました。



田植え



草抜き



稲刈り

JICAからの事業受託

2020年度は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響に鑑み、来日研修は実施せず、遠隔研修を実施しました。2021年度は2020年度遠隔研修参加の研修員を対象とした来日視察研修を2021年度に実施予定です。(2020~2021年度複数年度) コロナ禍での新たな試みとして、遠隔研修用にオンデマンド教材づくりを行いました。遠隔研修には、Google workspaceを活用し、研修員との連絡調整やログ管理をとした進捗状況の確認、モニタリングの実施等を行い研修内容の質の向上に努めました。

課題別研修「固形廃棄物管理の基礎(C)コース」を受託

期間：2020年9月29日～2021年11月19日（複数年度契約）
 遠隔研修：2021年1月18日～7月13日
 遠隔研修達成度アセスメント期間：2021年7月14日～2021年9月7日
 来日研修期間：2021年9月8日～9月24日
 研修員：7名（イエメン・マラウイ・ジンバブエ・南スーダン）

教材づくり17本作成

- ・パワーポイント英語音声教材10本中7本作成済
- ・動画教材7本中3本作成済

パワーポイント教材に関しては、内部講師を中心に情報をまとめ、これまで使用してきた教材の再編成を中心に教材作成を行いました。動画教材に関しては、廃棄物に関連する会員企業様を中心に取材協力を得ることができ、企画・構成・撮影・編集等にチャレンジさせて頂きました。「バーチャル見学」として他の受入団体とは違う特徴が活かされたことJICAから評価を頂きました。

(取材協力：西宮市・(株)山一商会・西日本衛材(株)・(有)ダイハチ・ウツミリサイクルシステムズ(株)・川瀬産業(株) 甲東エココミュニティ会議)



西宮市ごみ焼却施設



(株)山一商会取材



紙のリサイクル



金属類のリサイクル



Pet樹脂のリサイクル



プラスチックのリサイクル



地域で行うごみ減量の取り組み

課題別研修「循環型社会構築のための固形廃棄物管理（行政と市民の協働に重点を置いた(A)）」コース受託

期間：2021年1月8日～2022年1月31日（複数年度契約）
 遠隔研修期間：2月12日～9月15日
 遠隔研修達成度アセスメント期間：2021年9月16日～2021年10月27日
 来日研修期間：10月28日～11月12日

研修員：4名（ザンビア・ソロモン・エクアドル）

固形廃棄物管理の基礎コース同様、遠隔研修用オンデマンド教材づくりを行いました。また、遠隔研修には、Google workspaceを活用し、時差を考慮したオンラインセッション（ジェネラルオリエンテーション）を2回実施。研修員との連絡調整やログ管理をとした進捗状況の確認、モニタリングの実施等を行い研修内容の質の向上に努めました。

教材づくり9本作成（固形廃棄物コース教材改訂版除く）

- ・パワーポイント英語音声教材7本中4本作成済
- ・動画教材3本中2本取材済

パワーポイント教材に関しては、循環型社会の構築を中心に市民・事業者・行政の役割を整理し、教材作成を行いました。

動画教材に関しては、新たに廃棄物に関連する会員企業様を中心に取材協力を得ることができ、企画・構成・撮影・編集等にチャレンジさせて頂きました。

(取材協力：マツダ(株)・日本山村硝子(株)・(株)山村製塩所・(株)吉田製作所・(有)オートパーツ光伸)・・・2021年度実施含む

オンラインセッションでのジェネラルインフォメーションの様子



草の根技術協力事業

JICA草の根技術協力事業(2017年8月～2022年5月、4年9ヵ月事業)

「持続可能な地域づくりに向けた官民協働による環境学習推進プロジェクト」

事業対象国であるソロモン諸島においても「緊急事態宣言」が発令されました。

2020年度はプロジェクトマネージャーの渡航が困難となりましたが、現地雇用スタッフ2名にSNSを駆使して遠隔指導を行い少しずつですが事業を進めて行くことができました。

また、コロナ禍において「環境学習都市宣言1周年」に向けて記念式典等を開催することが困難であるため、記念ビデオの撮影やLEAFの活動がベースとなっており2003年に「環境学習都市宣言」を行っている西宮市と、カウンターパートであるホニアラ市との意見交換会をJICAのTV会議システムを通じて、双方の市長同士で実施することが出来ました。



TV会議の様子①



TV会議の様子②

* 今年度の主な活動

- ・ 自然ガイドブックの配布 (35校中28校配布済)
- ・ 環境学習都市宣言パネルの配布・設置
- ・ 環境学習センター(自然環境・廃棄物管理・コンポスト)運営に向けた準備
- ・ ホニアラ市環境情報センターの運営に向けた準備
- ・ 地域教材づくり冊子編集会議の実施・地域教材づくり動画撮影及びホニアラ市「環境学習都市宣言1周年記念」ビデオ撮影
- ・ パートナーシップ委員会の開催(現地)
- ・ ホニアラ市環境ビジョンに位置付けられた環境事業(クリーンアップ)の実施2回
- ・ 西宮市とホニアラ市オンラインセッション



宣言パネルと自然ガイドブックの配布



11月1日クリーンアップの様子



地域教材づくり冊子編集会議の実施・地域教材づくり動画撮影及びホニアラ市「環境学習都市宣言1周年記念」ビデオ撮影



地域教材づくり冊子編集会議の様子

西宮市等の諸団体と連携した持続可能な地域づくりに向けたネットワーク化の推進及び政策提言

西宮市環境計画推進パートナーシップ会議及び各部会への委員派遣

パートナーシップ会議委員

「持続可能な地域づくりサポート基金・にしのみや」の事務局運営

「持続可能な地域づくりサポート基金・にしのみや」管理運営委員会：
西宮商工会議所、西宮ロータリークラブ、西宮市、NPO法人こども環境活動支援協会

- ・2020年度 支給対象8地区（1地区辞退）
（甲東・春風・平木・甲陽園・甲子園口・山口・大社・北六甲台）に活動資金（478,500円）を支給しました。

エココミュニティ会議等活動コーディネート

西宮市内各地域で設置されているエココミュニティ会議において、会議やイベント等の活動サポートを行いました。 18回

SDGs 関西プラットフォームへの参加

各種団体への理事などの派遣

- ・（公財）コープともしびボランティア振興財団理事
- ・兵庫県ユニセフ協会評議員

各種委員へへの派遣

- ・JICA「大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト フェーズⅡ」国内支援委員会委員
- ・（公財）コープともしびボランティア振興財団助成検討委員
- ・スチール缶リサイクル協会「小・中学校における環境教育推進支援事業」審査委員
- ・社会福祉法人西宮市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会委員
- ・国指定浜甲子園鳥獣保護区保全事業検討会委員

大学への講師派遣

- ・神戸女学院大学「NPOマネジメント論」 後期 2回生 28名 （15回）
- ・兵庫県立大学 グローカルリーダー入門 講師 （2回）

講師派遣

- ・兵庫県立淡路景観園芸学校（兵庫県立大学院緑化景観マネジメント研究科 講師 8/4）
- ・西宮市保育所職員専門研修「西宮市の環境保育について」 （2回）
- ・西宮市教職員初任者研修（西宮市小中学校初任者）

高校生及び大学生インターンシップ研修受け入れ

- ・芦屋国際高校ボランティア受け入れ(1名)

寄付物品目録贈呈式

(株) 阪急メディアックス様より、会議室用椅子 250脚 収納台車5台 机5本寄贈頂きました。



名義後援

- ・「実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境教育に取り組む小・中学校への支援事業」スチール缶リサイクル協会

展示

- ・梅田ルミポールにて、阪急阪神未来のゆめまちプロジェクトの円形広告に助成団体として紹介されました。（掲載期間 7/6~7/13）



特定非営利活動法人 こども環境活動支援協会 (LEAF)



事務所：〒662-0832 兵庫県西宮市甲陽園1丁目8-1
TEL 0798-69-1185 FAX 0798-69-1186
e-mail: kodomo@leaf.or.jp
URL: http://leaf.or.jp